科目名	栄養情報処理（応用）		
授業形態	演習	学年	2
開講時期	2021 年度 前期	単位数	1
担当教員	石川　大太郎		
内容および計画	本講義では次の２点を目標に演習を行います。 ①栄養士の仕事や栄養学研究で使われている基本的な統計学的な内容が理解できること。 ②実際に自分で簡単な統計的手法を使えるようになること。 講義の前半は統計的な概念や手法を理解するために必要な講義を行います。また、講義の後半では、適宜表計算ソフトの Microsoft Excel を用いた演習を実施し、各人が将来の専門研究等で利用できる知識・技術の取得を目指します。 ※下記講義計画は取り上げる内容を列挙しており講義回数とは対応していません。		
1	誤差論：精度、確度		
2	代表値の計算と結果の解釈		
3	データの集計と図による表現		
4	分布とデータの位置		
5	母集団と標本		
6	１標本の推定と検定		
7	対応のない独立２標本の検定		
8	対応のある関連２標本の検定		
9	相関と回帰		
10	１要因計量データの検定：カイ２乗適合度検定		
11	質的な２要因間データの関連性		
12	主成分分析		
13			
14			
15			

教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
『管理栄養士・栄養士のための統計処理入門』	武藤　志真子	建帛社	9784767946368	2012

基本的には教科書の内容に沿って講義、演習を行います。

参考書	小島　寛之、（２００６）、『完全独習　統計学入門』、ダイヤモンド社、9784478820094 池田　郁男、（２０１５）、『実験で使うとこだけ生物統計キホンのキ①』、羊土社、9784758120760 池田　郁男、（２０１５）、『実験で使うとこだけ生物統計キホンのキ②』、羊土社、9784758120647 東京大学教養学部統計学教室、（１９９１）、『統計学入門』、東京大学出版会、9784130420655 東京大学教養学部統計学教室、（１９９２）、『自然科学の統計学』、東京大学出版会、9784130420679

成績評価

評価方法	割合(%)
出席	70
レポート	30

学習到達目標	内容①、②を参照
先修条件	特になし
実務経験	特になし
その他	演習ではパソコンに事前にインストールされた Microsoft Excel を使って計算を行います。基本的には全員の足並みをそろえてやっていきますが、事前に栄養情報処理（基礎）の内容を復習しておいてください。